

東京都議会議員選挙(北多摩第四選挙区)選挙公報

東京都選挙管理委員会

都政を動かす

「快適・安全・安心の東京」を創る

動き始めた日本を東京がリードします。私は「生命を守る」を使命に「安全・安心ビジョ

東京を世界で一番の都市に!

ン」と「活気・発展ビジョン」の両輪で、世界一の都市・東京を築きます!

安全・安心ビジョン

災害に強い安全な東京
都民の生命と健康を守る安心都市・東京
高齢者や障害者にやさしい東京
日本の将来を担う子育て世代にやさしい東京
後世に誇れるクリーンで美しい東京

活気・発展ビジョン

力強い経済で日本をリードする東京
若者が夢と希望を持つ教育都市・東京
ヒトとモノの流れがスムーズに行きかう首都圏
スポーツ文化都市・東京
魅力あふれる多摩島しょ

魅力と活力ある清瀬・東久留米を

★さとうに進める
★東久留米市の真ん中15haの都立公園事業
この7月には、12ヶ所まで事業認可が予定されています。武蔵野の原風景をコンセプトに施設整備も進めます。どんな都立公園に、あなたのご希望は。

★ご活用する48ヘクタール
武蔵野の原風景を彷彿とさせる梅園地区の清瀬小児病院跡地。清瀬の緑を大切に、福祉・医療分野での活用も視野に、そして清瀬市の財政負担は少くが条件です。雑木林の中にある給水施設も一つの選択です。
あなたのご意見は。



主な経歴

昭和24年 東久留米に生まれる
昭和46年 日本大学(法律学科)卒業
東急不動産(株)勤務の後、東久留米市議会議員に当選。以降、東久留米市助役、東久留米市議会議員、東京都議会議員に当選。
平成13年 以降、都議会 経済・港湾委員長、都議会自民党 政務調査会長等
現在 都議会自民党 幹事長、都議会厚生委員、都税制調査会委員 (64才)

野島善司

のじまぜんじ 自由民主党公認



皆様を支えられ三〇年、都市経営(市・都政)一筋に走り続けて参りました。二十一世紀は都市の時代。東京を世界で一番の都市に、活力と魅力にあふれたまち(清瀬・東久留米)の創造に、誠実に、真面目に、着実に取り組んでいます。今回もご支援をお願い申し上げます。

◎推せんします
衆議院議員 木原 誠二
東京都知事 猪瀬 直樹
清瀬市長 渋谷金太郎

あなたのご意見をお聞かせ下さい TEL.471-0646 FAX.473-0883

まっすぐに都政をかえる!

実現してきた40歳

・300億円のムダを削減!
都職員通勤手当を1ヶ月定期から6ヶ月定期に変更し、9年間で300億円のムダを削減しました。

・安心の小児医療を実現!
多摩北部医療センターを都唯一の特別連携病院に指定させ、小児救急体制を2系列に拡大し、医師を大幅増員しました。

・教育改革を実現!
メディアリテラシー教育(情報の意図を見抜く能力を育成)を事業化させ、全都立高校で受講できるようにしました。

そしてこれからも

・多摩を環境に優しい最先端地域へ!
クリーンエネルギーを地産地消する「スマートシティ」を構築し多摩を環境に優しく便利で快適な地域にしていきたいと思います。そして多摩から日本のエネルギー政策を変えていきます!

・オリンピックを東京で!
2020年オリンピック・パラリンピックを招致し東日本大震災の被災地復興の力にしていきたいと思います! また、税金の投入額を前回の半分に抑え、過大な施設をつくらぬムダのない大会にしていきたいと思います!



山下太郎

民主党公認 40才



プロフィール

幼少時代
清瀬市旭が丘団地そばにある母親の美容室に毎日通い幼少期を過ごす。
留學時代
高校一年の時に単身でアメリカへ留学。国際関係の学部で学んでいくうち、日本の未来に危機感を抱き、政治家になることを決意する。
最終学歴:カリフォルニア州立大学ハイワード校卒業
1999年 衆議院議員秘書
2001年 都議会議員選挙初当選 第16期最年少
2011年 都議会民主党幹事長に就任

28歳の挑戦 生まれ育った多摩のため 都政に一石を投じたい!

学生時代は、教育を学びました。職業人としては、どんな問題にも、場当たり的でなく、大層の考えを持ってあたってきました。私は、安全・安心を根柢に据え、将来世代に責任のもつ持続可能な政策を提案します。
【持続可能な東京に向けた取り組み】
1. 若者のキャリア形成を疎かにした社会は、将来的に衰退します。ハローワークの国から都への移管を後押しし、より踏み込んだ職業訓練の実施を提案。魅力的な中卒卒業者のマッチング機会の充実。
2. シンガポールやスイスに負けない、戦略的な成長戦略が必要です。国政での規制緩和の流れに呼応しながら、羽田・東京港のハブ機能を強化し、都心港間のアクセス向上を図る。緑と調和のとれた都市を創る。
3. 官民連携を深化させ、共助の機運を高めていくことが必要です。「公共サービスは行政だけが担うもの」という形から脱し、官民協働でのサービスの実施、民間ノウハウ導入など、多様な連携を深化させていくことを提案いたします。
4. 大型保育園の増設一辺倒では、将来的に定員割れとなる園が続出。大中小規模のバランスのとれた保育サービスの迅速な展開。小規模の保育サービスが持続可能となるような補助制度を、ヒヤリハットの事故共有を各園で共有する仕組みなど安全を支える仕組みづくり。
5. 「安心・安全を充実させる取り組み」
農機や牧場が併設された、魅力的なシニア向け住まいもあります。「活き活きできる」という視点を大切に、シニア向け住まいも、介護施設・交流の場を増やします。
6. 美しい国土に人の住めない土地ができたという重大な事実。東京から脱原発を推進。夏場ヒート島の節電対策が肝。
7. TPP交渉が進んだとき、食の安全は大丈夫か?
8. 都民の命を守るために必要道路確保も重要です。交渉の動向に注視し、給食の安全など求めていく。
9. 都民の命を守るために必要道路確保も重要です。三環状道路・多摩南北道路の迅速な整備を推進。

【プロフィール】●東京大学教育学部卒業 ●家業である塗装会社に入社 ●父が長期入院生活に入るのを機に、家業を引き継ぐ ●環境系ベンチャーを起業 【趣味】●テニス・愛犬と散歩 【東久留米市出身】



伊集院みちのぶ

日本維新の会 いじゅういん

暮らし、福祉、医療を守る都政を

小児医療の充実、特養ホーム増設、保育園待機児の解消を

- 富士まことの7つの約束
- 多摩北部医療センターに小児外科外来の開設、NICU(新生児集中治療室)の開設で小児医療の充実を
 - 特養ホームの待機者解消と75歳以上の医療費の無料化を
 - 認可保育園の増設で待機児の解消を
 - 国保税や介護保険・後期高齢者保険料の各5千円引下げを
 - 最低賃金時給千円以上をめざし、若者の雇用や中小企業・商店街支援を
 - 木造住宅・マンションの耐震改修助成など震災対策充実を
 - 都営住宅の新規建設、子育て世帯への家賃補助を

憲法が息づく東京を。東京から原発ゼロを発信

1953年秋田県生まれ。新潟大学中退。全日本国立医療労働組合本部、清瀬市議2期。現在日本共産党北多摩北部地区副委員長。家族は妻と二男。

地域の小児医療をよくする会会長
元東久留米公立保育園園長
児童文学者
日本共産党委員長

小野幸子
嶋さなえ
古田足日
志位和夫



富士まこと

日本共産党 はたけやま

この選挙公報の選挙区(北多摩第四選挙区)は、 清瀬市、東久留米市です。

(この選挙公報は、東京都議会議員の選挙における選挙公報の発行に関する条例(昭和38年東京都条例第3号)第4条第1項の規定により、候補者から提出された原稿を、そのまま写真製版のうえ掲載したものです。)

投票日 6月23日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで

仕事やレジャーなどで投票日に行けない方は、期日前投票ができます。

- 期日前投票期間 6月15日(土)～6月22日(土) 午前8時30分から午後8時まで
- 期日前投票所 お住まいの区・市役所、町・村役場やその出張所など

(期日前投票所によって、投票できる期間等が異なる場合がありますので、区市町村の選挙管理委員会におたずねください。)